

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』

実施レポート

学校名	長崎市高尾小学校	実施日	5月～3月
担当教員名	川端 健一 他4名	実施学年・人数	5,6年 98名
学校・学級紹介	本校は長崎市住宅街にある中規模校。学校教育目標は、「た」:たくましい子、「か」:かしこい子、「お」:おもいやりのある子。1年から6年まで長縄の8の字跳びなどで体力づくりに励んでいる。年間で2回開催される全校長縄大会は白熱し、本番に向けて始業前や休み時間、放課後と各学級でのかけ声がグラウンドに響きわたっている。		
実施内容	<p>■ 正課クラブ「タグラグビー・ドッジボールクラブ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5,6年生、19名所属。年間10時間実施。 ・ルール理解のための簡単なゲーム(2時間) ・セルフジャッジができるようにゲームを中心に指導(3時間) ・チームごとに作戦を立ててのゲーム展開(3時間) ・自分たちの運営で大会を楽しむ(2時間) <p>■ 6年体育「タグラグビー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生79人、3クラス。9時間実施。 ・ルール理解のための簡単なゲーム(2時間) ・セルフジャッジができるようにゲームを中心に指導(2時間) ・チームごとに作戦を立ててのゲーム展開(3時間) ・自分たちの運営で大会を楽しむ(2時間) 		
指導のポイント	<p>①パスを確実に仲間に渡すこと。(仲間に対する思いやり)</p> <p>②ボールを持ったら、タグをとられるまでひたすら前進すること。(仲間に対する信頼)</p> <p>③ボールを持った人に走ってついていくこと。(仲間を支えるための頑張り)</p>		
感想・印象 今後の展望	<p>バスケット型球技、サッカー型球技に慣れ親しんだ児童にとっては、ボールを前方に出せないことで初めのうちは戸惑いがあった。しかし、数時間でボールを使った「陣取り」であることに気付いてきたようである。</p> <p>児童の感想にもあるように、足の速さや体格に左右されずタグを取ったり、トライを決めたりすることができ、これまで運動を苦手としていた児童にとって、意欲的に取り組める球技の特性を持っている。また少人数チームであればある程、一人一人の特性にあった役割が生まれ、作戦を練り上げたり、試したりという活動が用意である。更に短時間でもかなりの運動量が確保できる点で、今後も教材として大いに採り入れていきたい。</p>		